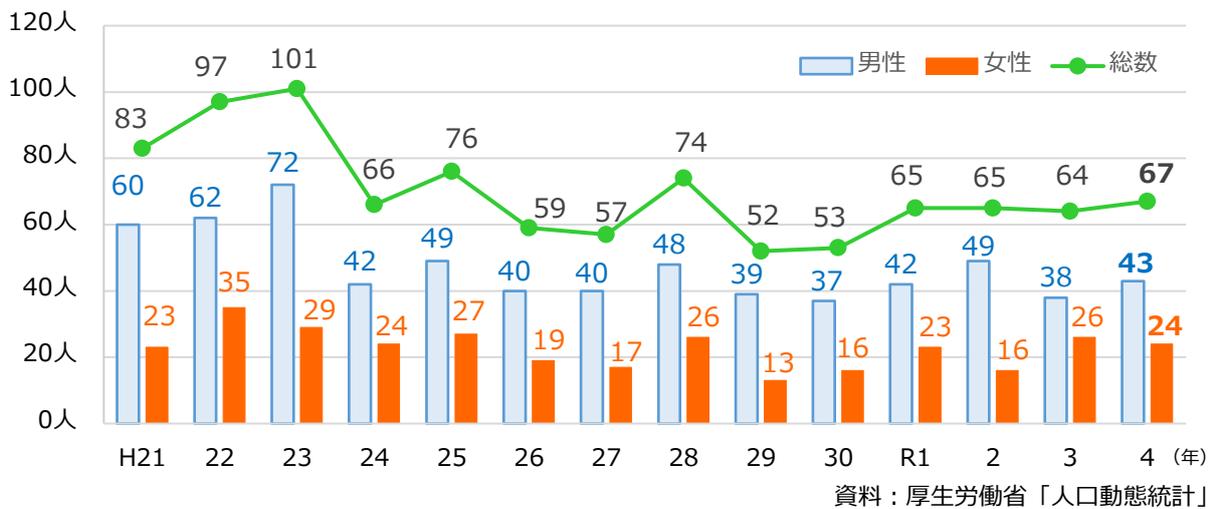


## 高松市の自殺の現状

### (1) 自殺者数の推移

自殺者数の総数は、平成 23 年は 100 人を超えていましたが、平成 29 年には 52 人と大幅に減少しました。令和元年以降は、64 人から 65 人で推移しており、令和 4 年は 67 人となっています。性別で見ると、男性の方が、女性より多い状況が続いており、令和 4 年は男性が 43 人、女性が 24 人となっています。

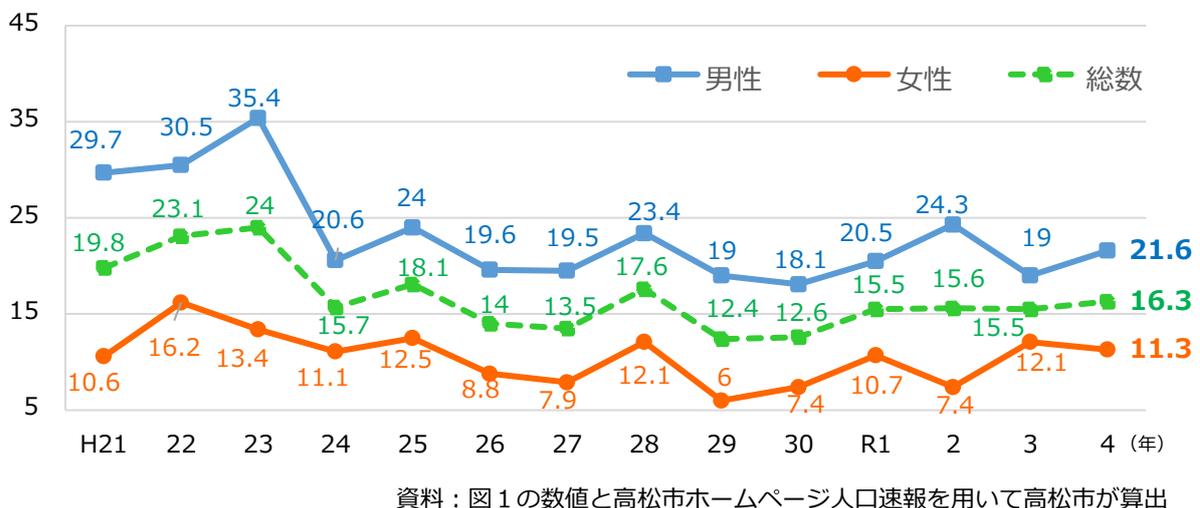
(図 1) 高松市における自殺者数の推移



### (2) 自殺死亡率の推移

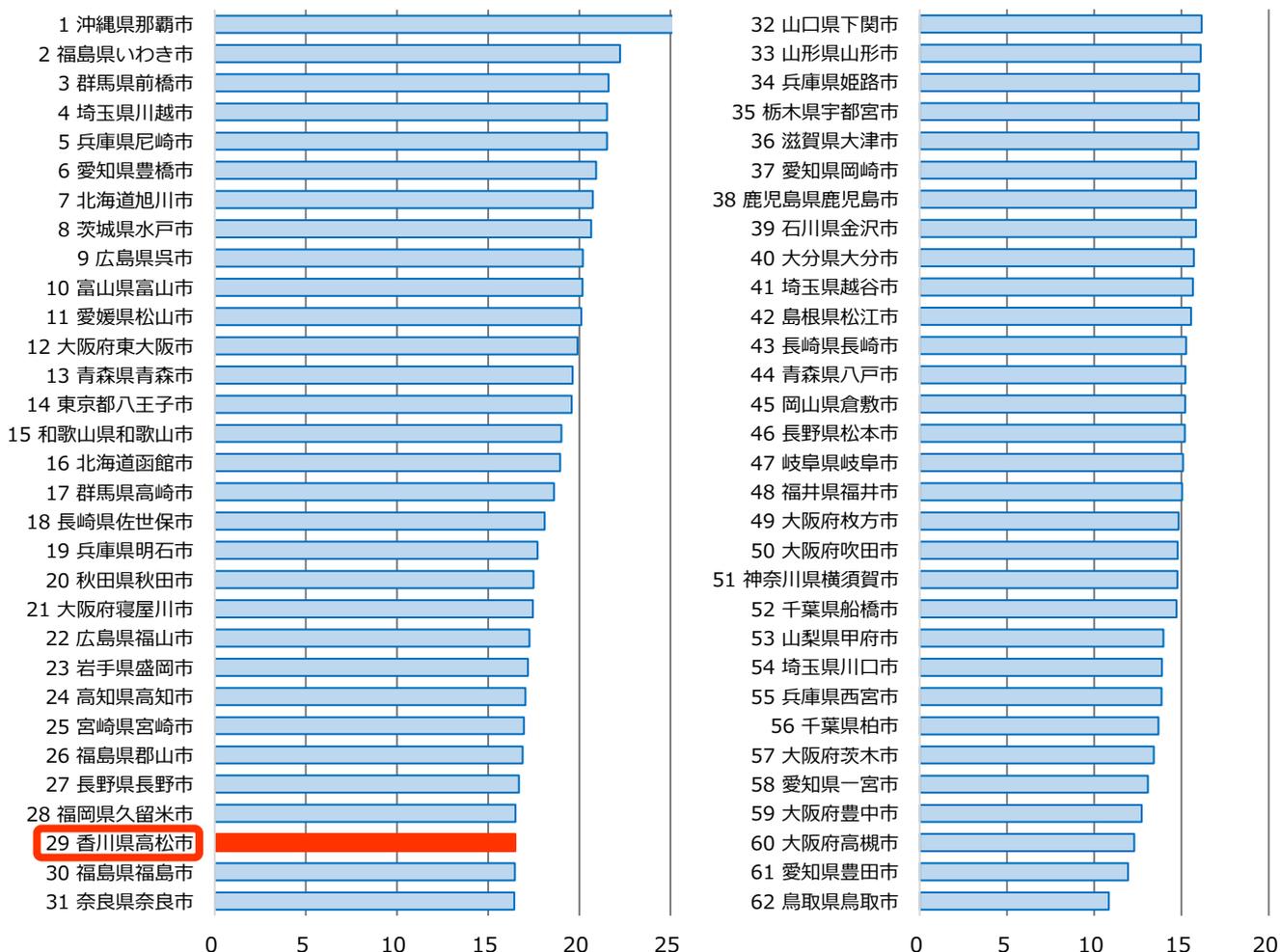
自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）は、平成 23 年をピークに低下傾向にありましたが、令和元年以降、15.5 から 15.6 で推移しており、令和 4 年は 16.3 となっています。性別で見ると、男性の方が、女性より高い状況が続いており、令和 4 年は男性が 21.6、女性が 11.3 となっています。

(図 2) 高松市における自殺死亡率の推移



中核市別で比較すると、令和4年の自殺死亡率は、62市のうち高い方から数えて、29番目（令和3年は、62市中25番目）となっています。

(図3) 中核市別自殺死亡率の比較 (令和4年)



資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」について

自殺者数に関する統計については、厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の2種類を用途に応じて使い分けています。主な違いは次のとおりです。

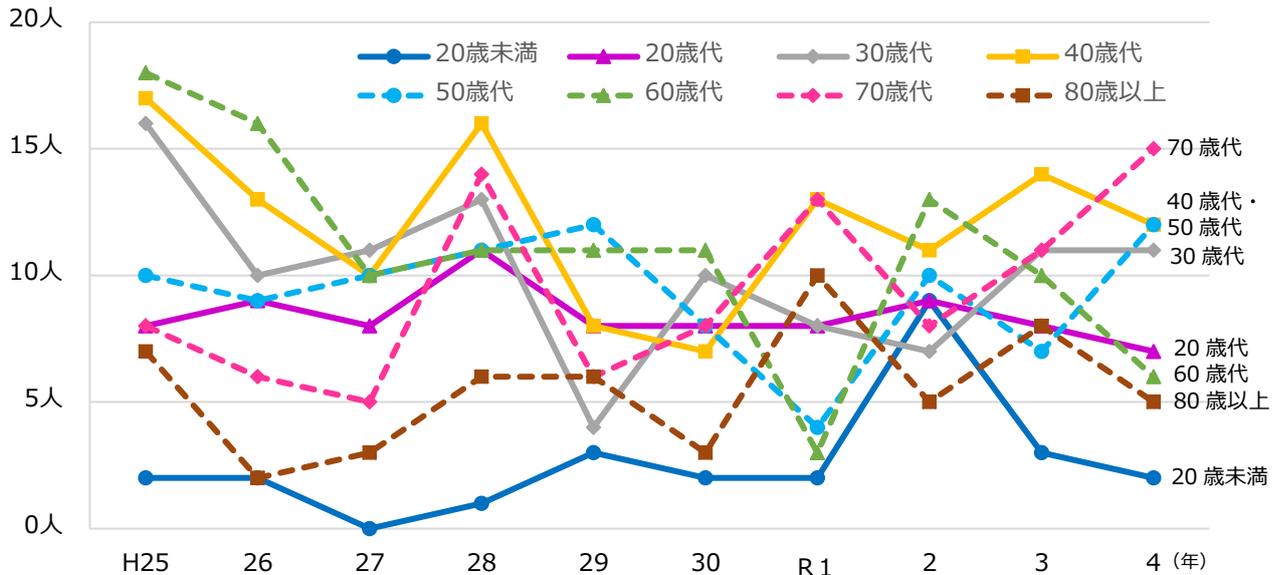
	厚生労働省「人口動態統計」	警察庁「自殺統計」
調査対象	日本における日本人	総人口(日本における外国人も含む)
調査時点	住所地を基に死亡時点で計上	発見地を基に発見時点で計上

また、警察庁「自殺統計」については、警察庁からデータ提供を受けた厚生労働省自殺対策推進室が再集計を行い、都道府県、市区町村別の、より詳細な資料を「地域における自殺の基礎資料」として公開しています。「地域における自殺の基礎資料」は、発見日・発見地で計上したデータの他にも、自殺日・住居地等で計上したデータがあり、本計画においても使用しています。なお、令和4年の自殺統計原票の見直しにより追加、変更された項目があるため、本計画において令和3年以前と令和4年の統計データを分けて掲載している場合があります。

### (3) 年齢階級別の自殺者数

年齢階級別の自殺者数は、令和4年は「70歳代」が最も多く、次いで「40歳代」と「50歳代」が多くなっています。また経年的にみると、令和3年以降、「70歳代」は増加傾向にあり、「20歳未満」、「20歳代」、「60歳代」は減少傾向にあります。

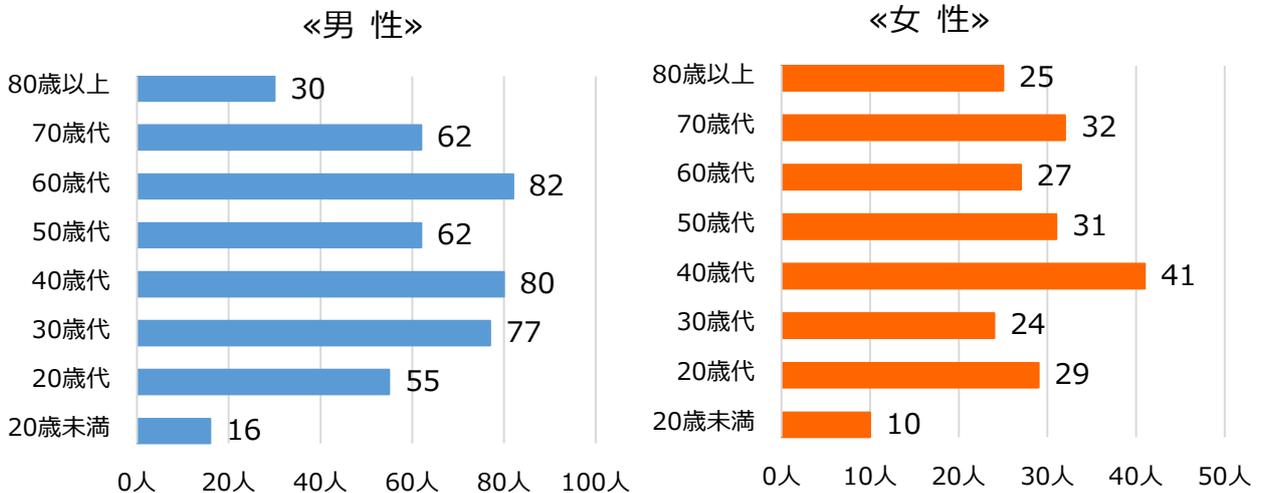
(図4) 高松市における年齢階級別の自殺者数の推移



資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

平成25年から令和4年までの、年齢階級別自殺者数の合計をみると、男性は「60歳代」が最も多く、次いで「40歳代」、「30歳代」の順で多くなっています。女性は「40歳代」が最も多く、次いで「70歳代」、「50歳代」の順で多くなっています。

(図5) 高松市における年齢階級別の自殺者数 (平成25年～令和4年合計)

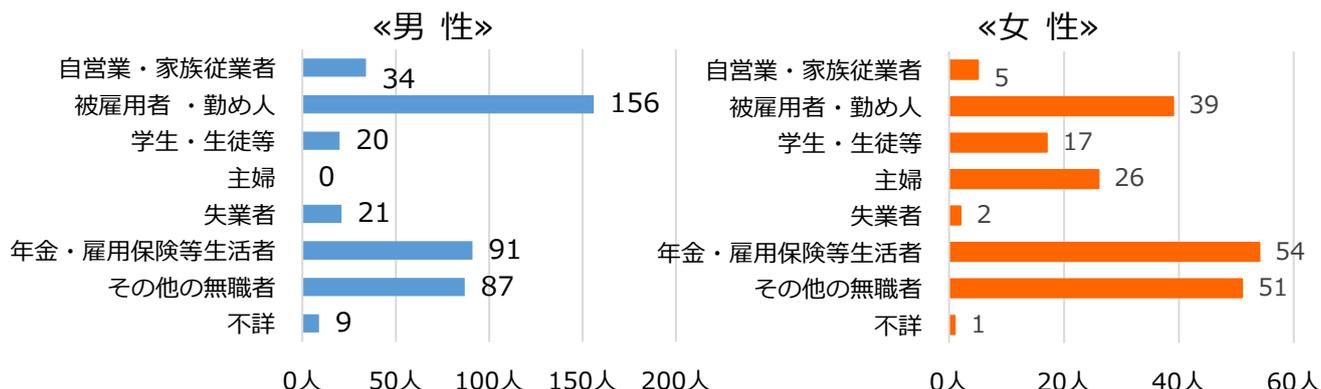


資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

#### (4) 職業別の自殺者数

職業別の自殺者数は、男性は、「被雇用者・勤め人」が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」、「その他の無職者」の順で多くなっています。女性は、「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、次いで「その他の無職者」、「被雇用者・勤め人」の順で多くなっています。

(図6) 高松市における職業別の自殺者数（平成25年～令和3年合計）



#### ■ 高松市における職業別の自殺者数※（令和4年）

	有職者	無職					職業不詳
		学生・生徒等	無職者				
			主婦	失業者	年金・雇用保険等生活者	その他の無職者	
男性	14	非公表	0	7	14	8	非公表
女性	11	非公表	非公表	非公表	5	非公表	0

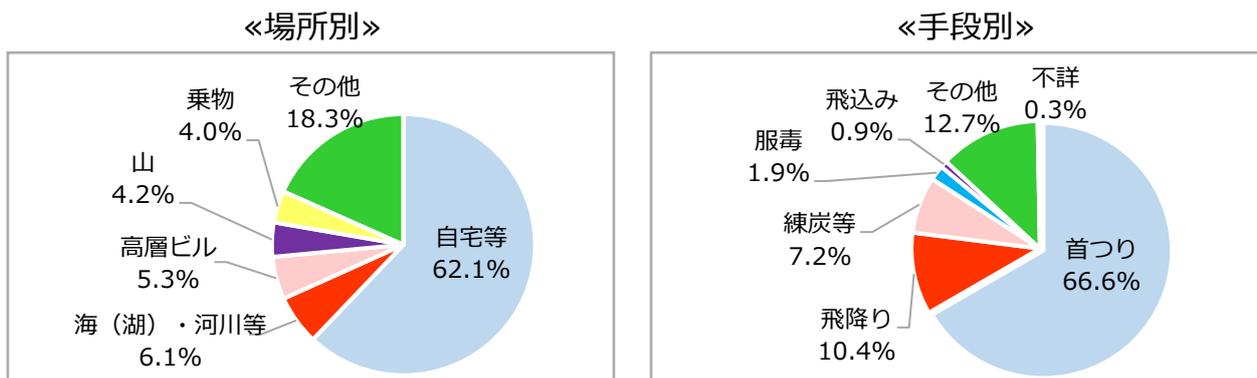
※ 5人未満の項目は、非公表としています。

資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

#### (5) 場所別・手段別の自殺者の割合

場所別では、「自宅等」が62.1%と最も高く、手段別では、「首つり」が66.6%と最も高くなっています。

(図7) 高松市における場所別・手段別の自殺者の割合（平成25年～令和4年合計）

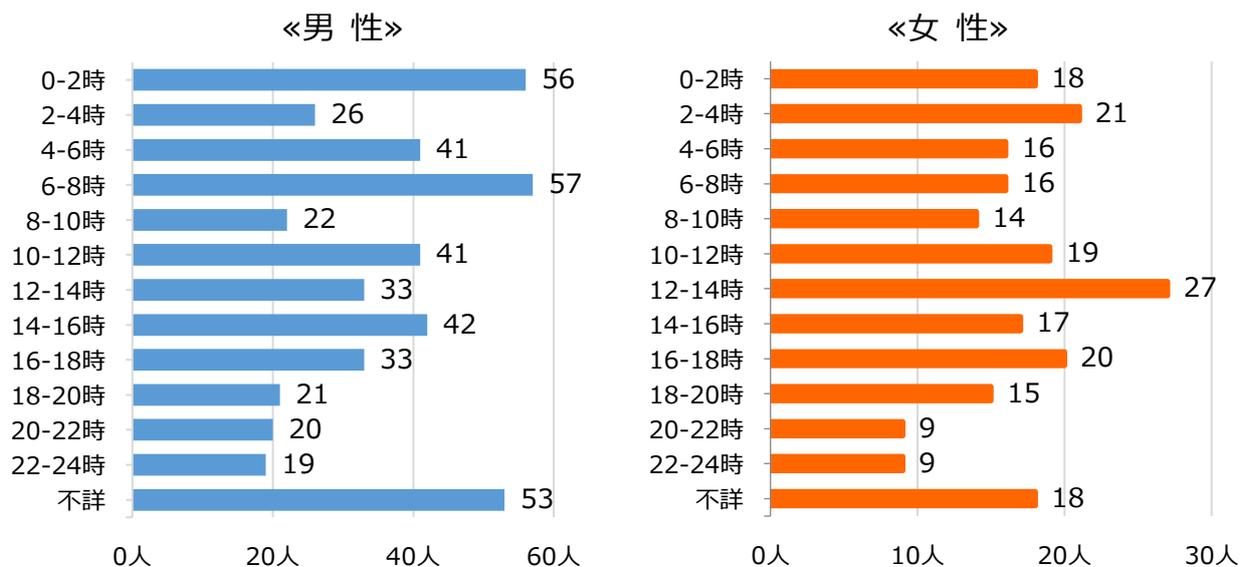


資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

## (6) 時間帯別の自殺者数

時間帯別の自殺者数は、男性は、不詳を除くと「6～8時」が最も多く、次いで「0～2時」が多くなっています。女性は、「12～14時」が最も多く、次いで「2～4時」、「16～18時」の順で多くなっています。

(図8) 高松市における時間帯別の自殺者数（平成25年～令和4年合計）

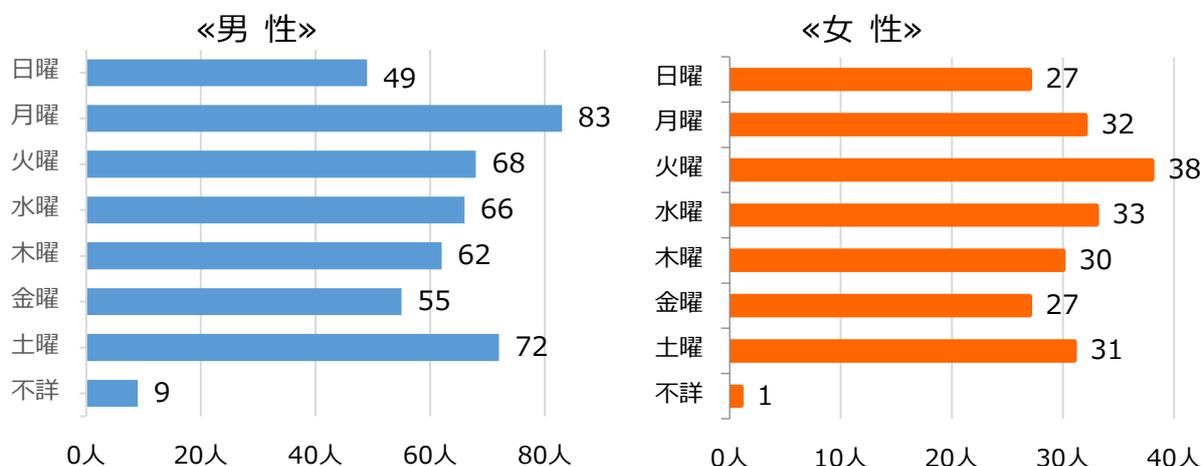


資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

## (7) 曜日別の自殺者数

曜日別の自殺者数は、男性は、「月曜」が最も多く、次いで「土曜」、「火曜」の順で多くなっています。女性は「火曜」が最も多く、次いで「水曜」、「月曜」の順で多くなっています。

(図9) 高松市における曜日別の自殺者数（平成25年～令和4年合計）

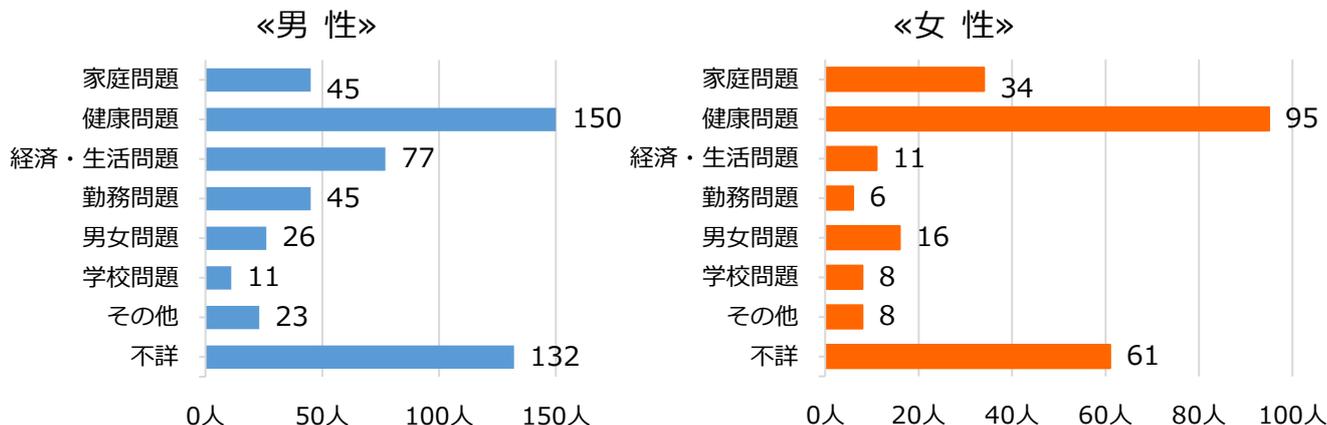


資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

## (8) 原因・動機別の自殺者数

原因・動機別の自殺者数は、不詳を除き、男性、女性とも「健康問題」が最も多く、次いで、男性は「経済・生活問題」、女性は「家庭問題」が多くなっています。

(図 10) 高松市における原因・動機別の自殺者数<sup>※1</sup> (平成 25 年～令和 3 年合計)



■ 高松市における原因・動機別の自殺者数<sup>※2</sup> (令和 4 年)

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	不詳
男性	14	26	14	8	0	非公表	5	非公表
女性	5	14	非公表	非公表	非公表	0	非公表	非公表

※1 複数の項目に該当するものがあるため、各項目の和は合計に一致しません。

※2 5人未満の項目は、非公表としています。

注 令和3年までは、遺書等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に限り、自殺者一人につき3つまで計上可能としていましたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能としました。このため、単純に比較することはできません。

資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

### 《健康問題に分類される原因・動機別自殺者数の割合》

平成 25 年から令和 3 年の健康問題に分類される原因・動機別自殺者数の割合を詳しくみると、男性は「身体の悩み（身体の病気）」が最も高く、次いで「病気の悩み・影響（うつ病）」が高くなっています。女性は「病気の悩み・影響（うつ病）」が最も高く、次いで「身体の悩み（身体の病気）」が高くなっています。

(表 1) 高松市における健康問題に分類される原因・動機別自殺者数の割合 (平成 25 年～令和 3 年合計)

	身体の悩み (身体の病気)	病気の悩み・影響					身体障がい の悩み	その他
		うつ病	統合失調症	アルコール 依存症	薬物乱用	その他の 精神疾患		
総数	34.6%	42.3%	6.1%	3.3%	0.8%	6.9%	3.3%	2.8%
男性	39.7%	37.7%	4.6%	2.0%	0.7%	7.3%	4.0%	4.0%
女性	26.3%	49.5%	8.4%	5.3%	1.1%	6.3%	2.1%	1.1%

※ 四捨五入をしているため、割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

資料：自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計したデータより高松市が作成【自殺日・住居地】

■ 高松市における健康問題に分類される原因・動機別自殺者数の割合（令和4年）

	病気の悩み			病気の悩み・影響						身体障がい の悩み	認知機能 低下の悩み	その他
	悪性新生物	てんかん	その他の 身体疾患	うつ病	統合失調症	アルコール 依存症	薬物乱用	摂食障害	その他の 精神疾患			
総数	7.5%	0.0%	15.0%	45.0%	5.0%	0.0%	2.5%	0.0%	12.5%	7.5%	2.5%	2.5%
男性	11.5%	0.0%	11.5%	38.5%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	11.5%	7.7%	3.8%	3.8%
女性	0.0%	0.0%	21.4%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%

※ 四捨五入をしているため、割合の合計が 100.0%にならない場合があります。

資料：自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計したデータより高松市が作成【自殺日・住居地】

《年齢階級別にみた「病気の悩み・影響（うつ病）」・「身体の悩み（身体の病気）」を原因・動機とした自殺者数の割合》

平成 25 年から令和 3 年の「病気の悩み・影響（うつ病）」、「身体の悩み（身体の病気）」を原因・動機とした自殺者数の割合を、性別及び年齢階級別にみると、「病気の悩み・影響（うつ病）」は、男女とも 20 歳未満で最も高くなっています。また、「身体の悩み（身体の病気）」は、男女とも 60 歳代から高くなり、80 歳以上で最も高くなっています。

（表 2）高松市における年齢階級別にみた「病気の悩み・影響（うつ病）」・「身体の悩み（身体の病気）」を原因・動機とした自殺者数の割合（平成 25 年～令和 3 年合計）

	病気の悩み・影響（うつ病）			身体の悩み（身体の病気）		
	計	男性	女性	計	男性	女性
総数	42.3%	37.7%	49.5%	34.6%	39.7%	26.3%
20歳未満	83.3%	100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	66.7%	75.0%	62.5%	8.3%	0.0%	12.5%
30歳代	41.9%	47.1%	35.7%	22.6%	23.5%	21.4%
40歳代	56.8%	52.2%	64.3%	21.6%	26.1%	14.3%
50歳代	61.8%	58.8%	64.7%	14.7%	17.6%	11.8%
60歳代	34.0%	28.6%	50.0%	42.6%	45.7%	33.3%
70歳代	30.0%	28.2%	36.4%	46.0%	51.3%	27.3%
80歳以上	17.2%	13.3%	21.4%	72.4%	73.3%	71.4%

資料：自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計したデータより高松市が作成【自殺日・住居地】

■ 高松市における年齢階級別にみた「病気の悩み・影響（うつ病）」・「病気の悩み（悪性新生物）・（てんかん）・（その他の身体疾患）」を原因・動機とした自殺者数の割合（令和4年）

	病気の悩み・影響（うつ病）			病気の悩み(悪性新生物)			病気の悩み(てんかん)			病気の悩み(その他の身体疾患)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
総数	45.0%	38.5%	57.1%	7.5%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	11.5%	21.4%
20歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	0.0%
40歳代	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%
50歳代	75.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳代	20.0%	10.0%	40.0%	20.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%	20.0%	40.0%
80歳以上	33.3%	20.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

資料：自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計したデータより高松市が作成【自殺日・住居地】

(表1)(表2)をみると、うつ病を原因・動機とした自殺者数の割合が高くなっていますが、自殺の背景には過労や生活困窮、育児や介護疲れ等、様々な社会的要因があり、複雑化・複合化した問題が最も深刻化したときに自殺は起きることから、うつ病そのものだけでなく、「うつ病に至るまでの危機経路」に着目する必要があります。

### (9) 同居人の有無別の自殺者数

同居人の有無別自殺者数は、「同居人あり」が「同居人なし」の約 1.9 倍となっています。一方、同居人の有無別自殺死亡率は、「同居人なし」が「同居人あり」の約 2.5 倍となっています。

(図 11) 高松市における同居人の有無別の自殺者数・自殺死亡率



資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】

(表 3) (参考)「高松市における同居人の有無別の自殺者率」算定に使用した数値

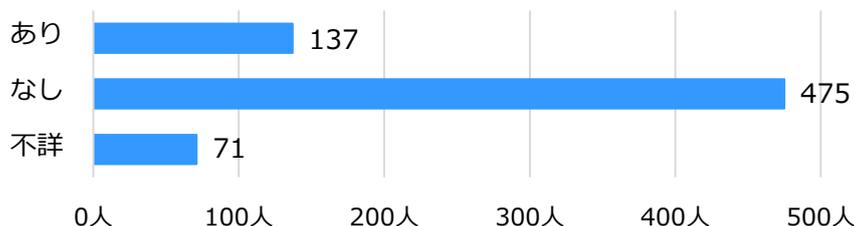
	自殺者数 (平成 25 年～令和 4 年の平均)	人口 (令和 2 年国勢調査より)
同居人あり	44.8 人	346,307 人
同居人なし	23.3 人	71,189 人

資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】、総務省統計局 e-Stat「令和 2 年国勢調査：小地域集計」より高松市が作成

### (10) 自殺未遂歴の有無別の自殺者数

自殺未遂歴の有無別の自殺者数は、「自殺未遂歴あり」が 137 人 (20.1%)、「自殺未遂歴なし」が 475 人 (69.5%)、「不詳」が 71 人 (10.4%) となっており、自殺者の約 2 割に自殺未遂歴があります。

(図 12) 高松市における自殺未遂歴の有無別の自殺者数 (平成 25 年～令和 4 年合計)



資料：厚生労働省自殺対策推進室「地域における自殺の基礎資料」【自殺日・住居地】